



和田っ子通信

令和5年度 No. 12
 福井市和田小学校だより
 発行日 令和6年2月13日(火)
 〒918-8238 福井市和田 1-2-1
 TEL:22-8817 FAX:22-6121

「本校教育活動に関する児童アンケート(3年生以上)」の結果について

2月9日付の学校だよりで、「本校教育活動に関する保護者アンケート」の結果についてご報告いたしました。今回は、児童アンケートの結果(12月実施)についてご報告いたします。お子さんがどういった回答をしたのか、学校の様子はどうか等、一緒に話し合いながらご覧いただくと幸いです。

A あてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない

結果分析

A+Bが90%以上 …◎ 80%以上 …○ 70%以上 …空欄 70%未満 …△

No.	質問項目	A %	B %	C %	D %	結果
1	学校へ通うのが楽しい	64	31	4	1	◎
2	服装や頭髪などをいつも正しくしている	72	25	2	1	◎
3	携帯やパソコンで友だちとメールのやりとりをする時、スマートルールや家庭のルールを守っている	77	15	2	6	◎
4	朝食は、好き嫌いせずバランスよく食べている	64	30	5	1	◎
5	運動することに興味をもち、目標をもって体を動かしている。	60	30	8	2	◎
6	宿題を忘れずにしている	70	25	4	1	◎
7	パワーノートに、自分で考えた学習をしている	48	34	14	4	○
8	睡眠の大切さがわかり、睡眠時間を十分にとることを心がけている(早寝早起きをしている)	57	34	7	2	◎
9	授業がよく分かる	59	38	2	1	◎
10	授業などで、時間(チャイム)を守って席についている	68	30	2	0	◎
11	授業中、先生の話や友達の意見をうなずきやまなざしで聞いている	62	34	3	1	◎
12	授業中、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりしている	51	40	8	1	◎
13	授業中、めあてや課題に一生けんめいに取り組んでいる	68	28	3	1	◎
14	タブレットを有効に活用して、学習を進めている	79	19	2	0	◎
15	授業中、友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている	61	34	5	0	◎
16	自分は、道徳の時間には、自分だったらどうかなど考えながら学習している	68	27	4	1	◎
17	友だちとは、思いやりの気持ちをもって、協力して活動している	76	22	1	1	◎
18	いじめを見たら、注意したり先生に伝えたり、いじめを止めようとする事ができる	53	38	7	2	◎

No.	質問項目	A %	B %	C %	D %	結果
19	口をとじて、まじめに清掃ができている	75	22	3	0	◎
20	みんなと何かをすることは楽しい	87	12	1	0	◎
21	家の近くの人や家族などに対して役に立ちたいと考えている	69	27	3	1	◎
22	ふるさと福井を大切にしたい	82	15	2	1	◎
23	つきたい職業など、将来の夢や目指す目標を持っている	73	16	8	3	○
24	お客様や先生、友だち、家族、近所の人に対してあいさつができる	68	28	3	1	◎
25	先生は授業をいっしょうけんめい教えてくれる	85	13	1	1	◎
26	授業でPC・タブレットなどの機器をよく使っている	41	28	25	6	
27	先生は、自分の良い点やがんばったことをほめてくれる	70	26	3	1	◎
28	先生は、質問や相談をするとていねいに答えてくれる	76	21	2	1	◎

〈児童のアンケートより〉

- 28の質問項目中25項目で、A+Bの肯定的な評価が90%以上の高い評価となりました。ただ、保護者と児童の評価では、意識にズレが見受けられるものもあります(3、4、7、8、24)。今後、A(あてはまる)と回答する児童が自信をもって多くなるように努力していきます。一方で、C・Dと回答した児童がいることから、日頃から児童理解に努め、一人一人をしっかりと支援していきます。
- 28の質問項目中、特に、1、9、12、15、17、18、20、25、27、28の結果について注視しています。「授業がよく分かり、友だちと協力して活動するので、学校へ通うのが楽しい」といった児童が100%になるように、一人一人に寄り添った温かい指導をしていきます。特に、学習面では、主体的に学習に関わり、友だちとの対話を通して、考えや知識が深まるよう、授業の改善に取り組んでいきます。そして、児童自身が成長に気付くことで、自己肯定感を高めていきたいと思えます。今年度から取り組んだ「ポジティブ教育」もその手段の一つです。また、不登校およびいじめの未然防止については、最優先課題として取り組んでいきます。
 なお、13と関連し、今年度新たに設けた項目26の評価が低かった理由として、本校では、児童のPC・タブレットは国語辞典のような学習ツールの一つとして捉え、常に使用しているのではなく学習内容に応じて活用しているためと考えられます。一方、教員は、児童に分かりやすく円滑に授業を進めるために、PC・タブレットを積極的に有効活用していることを報告します。

〈児童の学校生活の様子より〉

- スクールプランでもお示ししたとおり、今年度は「豊かで、健やかな心と体づくり」を土台にし、「居場所や絆づくり」を念頭に「分かる・できる授業づくり」、「ICTの効果的な活用」を重点事項として取り組んできました。中でも、「望ましい生活習慣の育成と凡事の徹底」を大切に思い、今年度は、「二言あいさつ、くつそろえ、まなざし、チャイム席、無言清掃」を、和田小学校の文化にすべく「和田しぐさ」と位置づけ、継続的に指導をしてきました。5つのことについて、一生懸命に取り組む児童の姿が見られます。
- 特に、「まなざし」を合い言葉に取り組んできた聴く態度には、出前授業の外部講師からも、その聴き方・学び方について高い評価をいただいています。集中力が学力を伸ばしたり、聞き手が話し手を育てたりするので、今後も根気強く指導をしていきます。
- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、本校の教育活動にも日常が戻りつつあります。コロナ禍で急速に伸びたICTを活用しつつ、これまでどおり、人と人、そして地域との関わりを大事にしながら、落ち着きと活気のある学習環境の中で、今後も児童を育てていきたいと考えています。